

# チャレンジ ミッション' 1 2

## 重点項目



# チャレンジ ミッション' 12 重点項目

※下線は新規項目

(知事政策局) . . . . .	1
1 <u>定住人口確保対策の具体化</u>	
2 <u>業務改善の推進</u>	
(企画県民部) . . . . .	3
1 富士山世界文化遺産登録の推進	
2 国民文化祭の開催	
(リニア交通局) . . . . .	5
1 リニア中央新幹線の早期実現	
2 公共交通の利用促進・利便性向上	
(総務部) . . . . .	7
1 <u>第二次やまなし防災アクションプランの着実な実行</u>	
2 税収確保対策の実施	
(福祉保健部) . . . . .	9
1 子育て支援の推進	
2 <u>やまなし思いやりパーキング事業(仮称)の推進</u>	
3 <u>自殺対策の推進</u>	
4 地域医療再生計画の推進	
5 がん対策の推進	
(森林環境部) . . . . .	14
1 <u>水資源の保護と適正利用の推進</u>	
2 クリーンエネルギーの導入促進(電力・節電対策を含む。)	
3 林業公社改革の推進	
(産業労働部) . . . . .	17
1 <u>産業振興ビジョンの推進</u>	
2 やまなしブランドの更なる向上	
3 雇用創出と求職者への総合支援対策の推進	
4 <u>中小企業高度化資金の不良債権処理と高度化事業の改善</u>	

(観光部)	.....	2 1
1	<u>おもてなしの推進</u>	
2	<u>多様な観光の推進</u>	
3	<u>外国人旅行者の来訪の促進</u>	
(農政部)	.....	2 4
1	未来を支える多様な担い手づくりの推進	
2	<u>担い手への農地集積の促進</u>	
3	県産農畜産物のブランド力強化と販売促進	
4	農業の6次産業化の推進	
5	農作物の野生鳥獣被害防止対策の推進	
6	<u>やまなし有機の郷づくりの推進</u>	
7	クニマスなどを活用した内水面漁業の振興	
(県土整備部)	.....	3 1
1	骨格道路網の整備促進	
2	甲府駅南口周辺地域の再整備の推進	
3	美しい県土づくりの推進	
4	自然災害に強い県土づくりの推進	
5	人にやさしい道づくりの推進	
6	公共土木施設の長寿命化の推進	
(出納局)	.....	3 6
1	簡素で合理的な会計事務の構築	
(企業局)	.....	3 7
1	グリーンイノベーションの推進	
(教育委員会)	.....	3 8
1	確かな学力の定着・向上	
2	<u>知的障害特別支援学校の高等部教育の充実</u>	
3	<u>新県立図書館開館後のサービス提供体制の構築</u>	
(警察本部)	.....	4 1
1	治安の改善と犯罪の起きにくい社会づくり	
(部局共通)	.....	4 2
1	県民生活安定及び経済活性化に関する施策の推進	
2	仕事ダイエット活動の推進	

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

知事政策局長 芦沢 幸彦

### ○重点項目 1 定住人口確保対策の具体化

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

定住人口確保に向けた施策展開のための庁内調整を行い、関係部局における施策・事業の早期の具体化を図ります。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・定住人口確保対策の具体化

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・全庁挙げての施策検討の統括
- ・関係部局の職員によるプロジェクトチームの編成
- ・定住人口確保対策の行程の明確化

### ○重点項目 2 業務改善の推進

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

総務事務等、全庁に関わる業務について、「事務の簡素・効率化」、「コ

スト縮減」、「事務処理ミスの防止」、「職員の負担軽減」の観点から改善が必要と思われる業務を選定し、見直しを行います。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・総務事務等の見直し（「手続きの簡素化」、「委託の推進」、「手作業で行っている事務のシステム化」、「権限委譲の推進」等）

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・対象業務の選定
- ・現状分析と問題点の洗い出し
- ・改善策の検討

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

企画県民部長 丹澤 博

### ○重点項目1 富士山世界文化遺産登録の推進

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

富士山世界文化遺産の平成25年夏の登録実現に向けて、平成24年夏から秋頃に行われるイコモスの現地調査への対応や、国民運動のさらなる展開等に万全を期するとともに、登録後を見据え、世界遺産センターのあり方の検討等にも鋭意取り組んでいきます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・イコモス調査受入態勢の整備
- ・全国的な機運の醸成
- ・世界遺産センター基本計画策定

#### ② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・構成資産及び周辺地域の環境整備、調査受入マニュアルの作成等
- ・富士山世界文化遺産両県県民会議の活動促進、関係者への働きかけ等各種PRの実施
- ・世界遺産センター検討委員会開催 (本年5月設置を目的)

## ○重点項目 2 国民文化祭の開催

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

本県における芸術文化活動を活性化し、文化力の向上を図るため、国内最大級の文化の祭典であり、多彩な文化活動の発表や交流の場となる「富士の国やまなし国文祭」を、明年1月から全国で初めて通年で開催します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

市町村や関係団体等と協力する中で準備に万全を期すとともに、県内はもとより首都圏を中心に広報・誘客活動を積極的に展開

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 県主催事業の開催準備
- ・ 市町村主催事業の開催支援
- ・ 県民参加促進のためのイベントや各種広報の実施
- ・ 県外からの誘客とおもてなしによるリピーター化の促進
- ・ 冬のステージを皮切りに「富士の国やまなし国文祭」を開幕



## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

リニア交通局長 小池 一男

### ○重点項目1 リニア中央新幹線の早期実現

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

リニア中央新幹線の開業を見据え、リニアを活用した県土づくりの基本的指針となるリニア活用基本構想を策定し、推進するとともに、リニア中央新幹線の早期実現に向け、より一層の機運醸成、普及、啓発を行うため、リニア見学センターのリニューアルを実施します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ リニア活用基本構想の策定
- ・ リニア見学センターリニューアルの設計等

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ リニア影響調査(第2次)の実施(23年度～)
- ・ リニア見学センターリニューアル基本・実施設計等の実施

## ○重点項目 2 公共交通の利用促進・利便性向上

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

県民に、少子高齢化社会における地域公共交通の役割と重要性を再認識してもらおうとともに、生活の足となる公共交通の確保充実に積極的に取り組みます。

### (平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・バス交通の活性化に向けた取り組みの実施
- ・JR中央線の高速化及び利便性向上に向けた取り組みの実施

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・市町村との連携による路線バスの利用促進に向けた啓発活動の実施
- ・バス路線見直しに向けた検討の実施
- ・郊外ショッピングセンターを活用したパークアンドバスライド実証実験の実施
- ・中央線通勤（通学）特急定期券等利便性向上策導入に向けた協議の実施

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

総務部長 田中 聖也

### ○重点項目 1 第二次やまなし防災アクションプランの着実な実行

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

東日本大震災をはじめ、これまでの大規模災害を教訓に、災害発生時に迅速かつ的確に対応し、災害による被害を最小限に止められるよう、県庁としての防災施策を体系的に取りまとめた「第二次やまなし防災アクションプラン」を策定しました。

このプランに基づき、本年度を初年度とする平成28年度までの年次計画に沿って、各種の防災施策を着実に実施して参ります。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・「第二次やまなし防災アクションプラン」にある250のアクションのうち、迅速かつ重点的に取り組むべき具体的な施策の実施

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・市町村の避難勧告・指示判断マニュアルの策定支援
- ・原子力災害対策の促進
- ・富士山火山防災避難計画の策定及び訓練の実施
- ・消防防災航空基地機能の強化

## ○重点項目 2 税収確保対策の実施

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

徴収対策強化に努め、平成 26 年度末決算時において、徴収率 96.1% 以上を達成します。

参考 96.1% = 平成 21 年度全国平均徴収率  
(本県徴収率 = 95.0%)

(平成 24 年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ① 上記重点項目を達成するために平成 24 年度で達成すべき目標

- ・平成 24 年度末決算時において、徴収率 95.7% 以上

### ② 上記重点項目を達成するために行う平成 24 年度施策事業

- ・市町村と連携した個人住民税の直接徴収（地方税法 48 条）の推進
- ・地方税滞納整理推進機構（県と市町村の共同設置）による市町村の徴収対策の支援
- ・高額滞納案件の滞納整理の促進による滞納繰越額のさらなる圧縮

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

福祉保健部長 三枝 幹男

### ○重点項目1 子育て支援の推進

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

子育て家庭を支援し、子どもが心身ともに健やかに育まれるよう、多様できめ細かな保育サービスの体制づくりを進めます。また、すべての子どもが家族の愛情や地域における温かい支援のもと、大切に育成される社会づくりに向けた取り組みを推進します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- |                |        |
|----------------|--------|
| ・延長保育を実施する保育所数 | 155保育所 |
| ・放課後児童クラブ数     | 216施設  |
| ・里親の認定登録世帯数    | 133世帯  |

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・延長保育促進事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・里親支援事業

## ○重点項目2 やまなし思いやりパーキング事業（仮称）の推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点事項

歩行が困難な人又は移動に介助者の特別な注意が必要な人等が地域で安心して暮らせるよう、思いやり駐車区画を利用できる者を明確にし、思いやり駐車区画利用証を交付することにより、その適正利用を図るやまなし思いやりパーキング事業（仮称）を推進します。

（平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業）

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・やまなし思いやりパーキング事業（仮称）の円滑な実施

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・施設管理者との協定締結
- ・思いやり駐車区画利用証の交付
- ・本事業の周知

## ○重点項目3 自殺対策の推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点事項

地域がその実情に応じた自殺対策を主体的、効果的に行えるよう取り組みます。

（平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業）

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・県民の自殺予防への意識を高め、密接に連携しながら県民運動として地域が自殺対策に取り組む体制の整備

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・やまなし自殺対策行動指針（仮称）の策定
- ・自殺予防週間を中心とした広報啓発活動の集中的展開

## ○重点項目 4 地域医療再生計画の推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

地域における医療課題の解決に向け、医療提供体制がぜい弱な峡南及び富士・東部医療圏における救急医療の確保、地域の医師確保などを図るとともに、山梨県全域（三次医療圏）における医療提供体制を充実するため、高度・専門医療機関の整備・拡充やこれらの医療機関と連携する地域の医療機関の機能強化を図ります。

### (平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

##### ○峡南医療圏

- ・医療従事者の確保
- ・医療機関の連携の推進
- ・在宅医療のモデル地区化

##### ○富士・東部医療圏

- ・高度・専門医療が圏域内で完結できる体制の構築
- ・医師確保等による診療・救急体制の強化
- ・医療機関の連携体制の推進

##### ○山梨県全域（三次医療圏）

- ・高度・専門医療提供体制の整備
- ・周産期医療提供体制の充実
- ・救急医療提供体制の強化
- ・災害医療体制の充実
- ・医療連携体制の構築
- ・医師等の確保及び育成

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

##### ○峡南医療圏

- ・地域医療研修支援事業
- ・医師修学資金貸与事業
- ・在宅医療支援センター設置事業
- ・地域医療従事者育成支援事業
- ・峡南中南部地域医療連携推進事業

- ・患者情報共有システム整備事業
- ・ドクターヘリ地域救急搬送拠点整備事業
- 富士・東部医療圏
  - ・地域医療研修支援事業
  - ・地域医療従事医師確保事業
  - ・歯科救急拠点整備事業
  - ・病院群臨床研修システム整備事業
  - ・患者情報共有システム整備事業
  - ・災害時医療情報ネットワーク整備事業
- 山梨県全域（三次医療圏）
  - ・通院加療がんセンター整備事業
  - ・放射線治療設備整備事業
  - ・地域医療臨床研修推進事業
  - ・地域医療連携支援学寄附講座設置事業
  - ・甲府地域医療センター整備事業
  - ・ドクターヘリ場外離着陸場整備事業
  - ・周産期医療体制強化事業
  - ・東部地域救急医療センター整備事業
  - ・精神科救急医療体制整備事業
  - ・産科医育成・確保支援事業

## ○重点項目 5 がん対策の推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

がん対策の一層の充実を図るため、県、保健医療従事者、県民及び事業者の責務などを定めた「山梨県がん対策推進条例」が、4月1日から施行されたことに伴い、条例の趣旨を反映した「第2次山梨県がん対策推進計画」を策定し、総合的ながん対策を推進します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・「第2次山梨県がん対策推進計画」を策定
- ・平成24年度アクションプランに基づき、早期に実現すべき事業の実施

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業



- ・がん対策推進協議会開催
- ・条例普及啓発事業
- ・がん対策企業連携強化事業
- ・子から親へのメッセージ事業
- ・がん検診受診率向上連携事業検討
- ・がん患者サポートセンター事業
- ・県民公開シンポジウム開催
- ・肝がん予防検診促進事業費補助金
- ・通院加療がんセンター整備事業
- ・放射線治療設備整備事業
- ・ゲノム解析センター整備事業

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

森林環境部長 安藤 輝雄

### ○重点項目1 水資源の保護と適正利用の推進

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

将来にわたって安定した水需給の確立と水資源を活かした産業の振興を図るため、水政策基本方針の見直しを進めるとともに、地下水資源の保護と適正利用に向け、「地下水保護条例(仮称)」を制定します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・「地下水保護条例(仮称)」の制定(平成24年内)

#### ② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・水資源実態調査の実施
- ・水資源保全検討委員会の開催

### ○重点項目2 クリーンエネルギーの導入促進(電力・節電対策を含む。)

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

クリーンエネルギー先進県やまなしの実現に向け、メガソーラー発電所

の誘致、太陽光発電設備の設置促進や省エネ・節電効果の高い住宅を導入するとともに、ピーク期間、時間帯の使用最大電力の抑制を図るため、県民、事業者、行政が一体となって節電に取り組むための「やまなし節電県民運動」を昨年度に引き続き実施します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 事業者によるメガソーラー発電所の試運転開始に向けた連携・支援
- ・ 住宅用太陽光発電設備の設置促進 1, 162件 (交付予定)
- ・ 節電効果の高いエコ住宅の促進 20件 (交付予定)
- ・ 節電対策の実施  
(節電県民運動及び節電対策研修会の実施)

② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 民間メガソーラー発電所誘致事業
- ・ 住宅用太陽光発電設備設置促進
- ・ 節電エコ住宅促進モデル事業
- ・ やまなし節電県民運動推進事業

### ○重点項目3 林業公社改革の推進

① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

将来的に多額の債務が見込まれる林業公社の廃止に向け、債務の抑制と分収林の適切な管理を図るため平成28年度までの5年間、林業公社改革プランに基づく契約期間の延長、分収割合の見直し、林業公社の廃止と分収林管理の県への移管に係る土地所有者との協議や分収林の適切な管理などに取り組みます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 地区説明会の開催 100箇所 (対象となる全地区で開催)
- ・ 個別説明会の開催 10箇所 (土地所有者の要望に応じて開催)
- ・ 個別訪問の実施 (必要に応じて実施)

- ・ 公益財団法人への移行 (平成25年4月に移行)
- ・ 分収林の適切な管理 (間伐や作業道整備等の実施)

② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 林業公社分収林事業支援補助金
- ・ 森林整備活性化資金利子助成事業
- ・ 林業公社改革推進協議会活動事業
- ・ 分収造林関連業務支援事業

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

産業労働部長 新津 修

### ○重点項目1 産業振興ビジョンの推進

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

本県のような地域資源や、ものづくり産業が持つ優れた技術を生かして、県内中小企業に対し、「山梨県産業振興ビジョン」で示した今後成長が期待できる分野への進出や、海外市場への販路拡大、関連産業の集積・育成、技術系人材の確保・育成などを促進することにより、ものづくり産業の振興とともに、雇用吸収力を持った新しい産業興しを図っていきます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 産業の枠にとらわれない、横断的・機動的な支援体制の構築
- ・ 県内企業の技術高度化や新技術開発等の支援、成長分野への進出促進
- ・ 海外市場の動向や取引慣行に関する専門家や関係機関との連携構築等の支援と、海外市場への販路拡大などの促進
- ・ 山梨大学と企業との共同研究の促進、最新の研究成果の企業への還元、及び燃料電池に関する県内産業の技術力強化支援
- ・ 第9次山梨県職業能力開発計画に基づく、成長分野やものづくり分野の人材育成の推進、県内中小企業の新卒人材の確保への支援

## ② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・産業振興ビジョン推進ネットワークの構築
- ・産業振興事業費補助金
- ・成長分野進出促進事業
- ・海外展開促進事業
- ・企業立地対策費
- ・燃料電池普及促進費
- ・燃料電池関連産業集積・育成支援事業
- ・中小企業新卒人材採用支援事業

## ○重点項目2 やまなしブランドの更なる向上

### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

ジュエリー、ワイン、織物など、山梨が誇る地場産業について、グローバルな視点からのデザイン力・商品企画力の強化や、国内外への情報発信など全国展開や海外展開を目指した積極的な取り組みへの支援を中・長期的に充実することで、ブランドイメージの更なる向上を図り、産地の活性化を目指します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・新市場・新販路の開拓や産地としての認知度の向上、更には各企業の総合的なデザイン力の向上を図る取り組みの充実・強化

### ② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ブランドチャレンジ支援事業
- ・ジュエリーやまなし活性化事業
- ・ワインやまなしブランド推進事業
- ・やまなし繊維ブランド化推進事業
- ・地場産業市場獲得支援事業
- ・県政情報発信事業(甲州ワインを中心とした本県のイメージアップキャンペーン)

### ○重点項目3 雇用創出と求職者への総合支援対策の推進

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

「やまなし・しごと・プラザ」において、若年者、中高年齢者それぞれの実情に即した就業支援サービスをワンストップで提供するとともに、離職を余儀なくされた非正規労働者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用機会を提供する緊急雇用創出事業を引き続き実施します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・「やまなし・しごと・プラザ」内の「ジョブカフェやまなし」、「求職者総合支援センター」において、就業相談と職業紹介を一体的に実施
- ・緊急雇用創出事業による雇用機会の提供 雇用創出数1,435人

#### ② 上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・「やまなし・しごと・プラザ」による就業支援
- ・緊急雇用創出事業の実施
- ・企業訪問による求人開拓や合同就職面接会の開催

### ○重点項目4 中小企業高度化資金の不良債権処理と高度化事業の改善

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

経営の破綻などにより貸付金の完済が見込めない中小企業高度化資金の不良債権について、今後の県民負担を最小に抑える観点から早期に処理するとともに、貸付審査や債権管理の在り方について検討し、高度化事業の改善を進めます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・債権譲渡又は債権放棄による不良債権の処理
- ・中小企業高度化資金の貸付審査及び債権管理に関する改善策の策定

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・中小企業高度化資金に係る不良債権の債権回収業者への譲渡と債権放棄
- ・中小企業基盤整備機構への免除申請
- ・高度化事業の改善策を検討するプロジェクトチームの運営



## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

観光部長 小林 明

### ○重点項目1 おもてなしの推進

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

やまなし観光推進計画の戦略に沿って3つの重点項目を定めて取り組んでいきます。

おもてなしの推進については、従来の観光地のみならず、本県のあらゆる地域において、県民が温かく旅行者を迎え入れるため、人材の育成、公衆トイレや駐車場等の観光インフラの整備とともに、県民のおもてなしに取り組む気運の醸成を図ります。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・満足度 (非常に満足と答えた観光客の割合) 35%以上
- ・リピーター率 62%以上

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・おもてなし推進事業の実施
- ・おもてなし推進週間などを通じた普及啓発事業の実施
- ・旅行者の安全性、利便性及び快適性を向上させるための観光地公衆トイレ緊急補修事業など、必要な施設の整備や適切な管理

- ・観光事業者の接遇向上を図るための講座や研修会の実施

## ○重点項目2 多様な観光の推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

旅行形態の変化やニーズの多様化、高度化に対応するため、本県の特色ある地域資源を活用し、多様な着地型旅行商品の提供や宿泊・滞在型の観光地づくり、山岳観光を推進します。

また、東京圏に隣接する優位性や農山村資源等を活かした都市農村交流や二地域居住を促進します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・観光入込客数(延べ人数) 4,400万人
- ・県内延べ宿泊客数 677万人
- ・富士の国やまなし観光ネットアクセス数 900万ページビュー

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・地域資源を活用した旅行商品の造成を促進するため、ブランドツーリズムやジュエリーツーリズムの推進
- ・健康、癒しなどの健康プログラムを提供するウェルネス・ツーリズムや自転車を活用したツーリズムなどの推進
- ・富士の国やまなし観光ネットなどでの情報発信
- ・首都圏における「ビタミンやまなしキャンペーン」の実施
- ・「富士山の日」及び「富士山憲章」の普及啓発

## ○重点項目3 外国人旅行者の来訪の促進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

外国人旅行者の誘致を図るため、本県の地域資源を活かした観光プロモーションを海外に向けて展開するとともに、ICTを活用し海外への情報発信を充実強化します。また、本県を訪れた外国人旅行者が安心して旅行を楽しめるよう、受入環境の整備を推進します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

外国人延べ宿泊客数 60万人

通訳ボランティアガイド・通訳案内士登録数 15.8人

富士の国やまなし観光ネット外国語ホームページアクセス数

22万ページビュー

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 韓国、中国におけるトップセールスや中国、タイ、シンガポールへの観光キャラバン隊の派遣
- ・ 外国人旅行者への歓迎メッセージや記念品の贈呈などを行うキャンペーンの実施
- ・ 富士の国やまなし観光ネットや中国語専用観光サイトを通じた情報の発信

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

農政部長 加藤 啓

### ○重点項目 1 未来を支える多様な担い手づくりの推進

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

意欲ある若者の就農、農業法人等への雇用就農を促進するとともに、認定農業者や農業生産法人の育成、企業の本格的な農業参入や農村を舞台に交流活動を行う企業の農園づくりを推進します。

- ・新規就農者数（雇用就農を含む） 年間 250人（H26年度）
- ・農業参入企業数 累計 100社（H26年度）
- ・企業の農園づくり実施企業数 累計 50社（H26年度）

果樹農家の経営安定を図るため、規模縮小農家や高齢農家の果樹園を活用した規模拡大に取り組みます。

醸造用ぶどうの新たな担い手として、都市住民を活用した「甲州ぶどう栽培クラブ」の活動支援に取り組みます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・年間新規就農者数 215人
- ・企業の農業参入の促進 農業参入 15社 農園づくり 10社
- ・企業と農山村の交流活動を促進する「ふるさと交流クラブ」の設置
- ・新規に規模拡大に取り組む果樹農家への支援 25戸
- ・甲州ぶどう栽培クラブによるぶどう園の管理 4地区80a

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・就農促進総合支援事業、農業協力隊推進事業等
- ・やまなし企業と農山村のふるさと交流促進事業
- ・果樹農家規模拡大支援事業
- ・甲州ぶどう栽培クラブ支援事業

○重点項目2 担い手への農地集積の促進

① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

高齢化等で営農が困難となった農地を新たな担い手へ流動化する仕組みづくりと、農地利用集積が容易となる環境を整備し、推進団体等の支援を行います。

- ・担い手への農地の集積率 30% (H26年度)

耕作放棄地等の再生活用や果樹園等の基盤整備の促進による農地の集積を推進します。

- ・果樹園の整備率 38% (H26年度)

農業生産活動や農村景観に影響を及ぼす耕作放棄地の有効活用に向けて、地域の実情に応じた対策を促進します。

- ・耕作放棄地解消累計面積 1,250ha

醸造用ぶどう栽培に取り組む企業や新規参入者への農地集積を図るため、耕作放棄地等を活用した整備等を進めるとともに、アグリマスターを活用した技術習得を支援し、醸造用ぶどう栽培面積の拡大を図ります。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・農地利用集積円滑化団体の全市町村への設置 27市町村
- ・農地集積推進協力者の配置 27市町村
- ・事業制度の周知・啓発による推進支援（研修会等の開催） 10回
- ・果樹園の整備率 33.5%
- ・耕作放棄地の解消面積 175ha
- ・アグリマスターによる新規参入企業等への支援 4社

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・農地利用集積円滑化促進事業、農地集積協力金交付事業
- ・畑地帯総合整備事業、果樹団地化促進支援事業 等
- ・企業的農業経営推進支援モデル事業
- ・耕作放棄地等再生整備支援事業
- ・耕作放棄地活用醸造用ブドウ栽培支援事業(緊急雇用)
- ・耕作放棄地景観保全緊急整備事業(緊急雇用)
- ・耕作放棄地再生・企業の農業参入推進事業(緊急雇用) 等
- ・醸造用ぶどう生産企業定着支援事業

### ○重点項目 3 県産農畜産物のブランド力強化と販売促進

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

県産農畜産物の販売競争力を強化し、有利販売と農家所得の向上を図るため、「農産物販売戦略委員会」による各種方策の検討を重ねるとともに、商品性の高い「オリジナル品種」の開発・普及や、新銘柄豚等、県産食肉の生産拡大とPR活動の展開、新たな認証制度の制定とロゴマークによるブランド力強化、国内外における販路拡大に向けた取り組み等を推進していきます。

- ・農業生産額 1,000億円 (H26年度)
- ・県産果実の輸出額 500百万円 (H26年度)
- ・試験研究機関の登録品種数 30品種 (H26年度)

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・原発事故等の影響により半減した輸出額の早期回復 253百万円
- ・オリジナル農畜産物の作出
- ・農産物販売戦略委員会の開催 (2回)
- ・新たな認証制度の構築、新たなロゴマーク等の作成 (7月)
- ・国内トップセールス(東京、名古屋)
- ・海外トップセールス (1回)、主要輸出先でのプロモーション (3ヶ国)
- ・フェスタまきばの開催 (1回) 等による県産ブランド食肉のPR
- ・「甲州牛」増頭のための受精卵移植 (160頭)
- ・新系統豚(種雄豚)の完成 (7月)
- ・オリジナル品種、ぶどう「甲斐のくろまる」、「ジュエルマスカット」等の早期産地化に向けた苗木の供給 計1,000本
- ・県が開発したオリジナル花きの優良種苗の供給 (4品目)
- ・国際フラワーEXPOへの出展 (1回)

- ・ 県産農産物の安全・安心を確保するための放射性物質検査の実施

## ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 農産物ブランド強化総合戦略実践事業、やまなし農産物ブランド化推進事業、県産果実海外販路拡大支援事業
- ・ フェスタまきば開催費補助金、甲州牛増産促進総合対策事業、フジザクラ開放型育種改良事業等
- ・ 山梨県オリジナル品種ブランド化推進事業、モモ等輸出検疫対策支援事業
- ・ 花き振興促進事業、やまなしの花産地活性化振興事業

## ○重点項目4 農業の6次産業化の推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

「美味しい甲斐開発プロジェクト」により、県産農畜産物を用いた新たな農産加工品開発の取り組みを支援します。

- ・ 美味しい甲斐開発プロジェクトによる新たな加工品開発数 10件 (H26年度)

商工業関係者も含めた実務者で組織するプロジェクトチームにより、意欲的な法人等の育成を支援します。また、緊急雇用創出事業の活用により、モデル的な取り組みの人材確保や商品開発などを支援します。

- ・ 6次産業化事業の新規取り組み数 50経営体 (H26年度)

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 「美味しい甲斐開発プロジェクト」の推進
  - ・ 県産農産物を原料とした本県を代表する加工品「やまなしの逸品」試作品の開発 5品
  - ・ 地域を代表する加工品「私たちの一品」開発取り組み支援 4品
  - ・ 県内外の販路開拓支援（展示商談会への出展等）4回
  - ・ 農と食のコラボレーション講座（加工試作品の発表会、小泉アドバイザーによる講演会）の開催 1回
- ・ プロジェクトチームによる農家集団や農業法人の指導・支援 15経営体
- ・ 6次産業化のモデル的な取り組みへの支援 6モデル

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・山梨の新農産加工品開発推進事業
- ・やまなし農業ルネサンス総合支援事業
- ・やまなし農業6次産業化等チャレンジ推進事業
- ・国の直接採択事業の活用

○重点項目5 農作物の野生鳥獣被害防止対策の推進

①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

野生鳥獣による農作物被害を防止するため、県獣害防止柵整備計画に基づき広域的かつ効果的な防止柵の整備と併せ、地域が主体的に取り組む被害防止対策について支援を行います。

- ・獣害防止柵の整備による被害防止面積 3,500ha (H26年度)

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・侵入防止柵の整備 68km (被害防止面積 累計2,900ha)
- ・鳥獣害防止対策の活動支援 14市町村協議会
- ・集落リーダーの育成 40名
- ・獣塀くんライトの普及推進

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・鳥獣被害防止総合対策事業
- ・鳥獣害防止対策集落リーダー育成事業
- ・鳥獣害防止技術開発試験
- ・畑地帯総合整備事業
- ・中山間地域総合整備事業
- ・農地環境整備事業
- ・鳥獣害防除事業

○重点項目6 やまなし有機の郷づくりの推進

①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目



本県の環境に配慮した農業生産方式への転換と安全・安心な農産物の生産活動を推進するため、農業者の化学肥料、化学合成農薬の使用量削減や有機性資源を用いた土づくり等への取り組みを支援するとともに、環境への負荷を低減した有機農業の振興を図ります。

- ・有機農業に取り組む農家数 115戸 (H26年度)
- ・環境保全型農業直接支払取り組み面積 180ha (H26年度)

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・やまなし有機農業交流推進大会の開催
- ・有機農業の栽培技術実証 3箇所
- ・生産物の販路拡大支援 3団体
- ・やまなし有機の郷フェアの開催 県内外2店舗
- ・新たに有機農業に取り組んだ農家数 5戸
- ・環境保全型農業直接支払取り組み面積 90ha

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・やまなし有機の郷づくり推進事業
- ・環境保全型農業推進事業
- ・環境保全型農業産地化支援事業
- ・総合農業技術センター試験研究費

## ○重点項目7 クニマスなどを活用した内水面漁業の振興

①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

絶滅種とされていたクニマスが西湖で発見されたことから、京都大学等との関係機関と連携しつつ、クニマスの人工授精、増殖に向けた調査や生息実態調査等の研究を進めます。

クニマスシンポジウムを開催するとともに、クニマスの展示などを行いクニマスの保護と活用に向けて県民意識の向上を図ります。

県産魚の消費拡大を図るため、甲斐サーモンなどの販路拡大を推進するとともに、生育促進や食味向上をねらいとして、ぶどう絞り滓を飼料に添加し飼育した新たなオリジナルブランド魚の開発を進めます。

サケ属の中でも特に美味とされる高級魚のキングサーモンとニジマスとを交配させた「ニジノスケ」など、本県の新たなブランド魚となる新魚

種の開発を進めます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・クニマスシンポジウムの開催(1回)、研究成果の発表(2回)
- ・クニマスの飼育特性把握、増殖技術の調査研究
- ・クニマスの展示による内水面漁業の普及啓発
- ・新ブランド魚の試食会の開催(1回)
- ・ニジノスケの病害に対する抵抗性の確認

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・クニマス保護推進事業費
- ・水産技術センター試験研究費

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

県土整備部長 酒谷 幸彦

### ○重点項目 1 骨格道路網の整備促進

#### ① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

広域幹線道路である、中部横断自動車道の平成29年度以前の完成を目指し、関連公共施設の整備や用地の確保に積極的に取り組むとともに、「有料道路方式」と「新直轄方式」各区間の同時並行による整備について、国や中日本高速道路(株)などに一層働きかけます。

生活幹線道路では、新山梨環状道路東部区間の平成25年度内の着手や、平成26年度内の西関東連絡道路の八幡南ランプまでの供用開始を目指すなど、地域高規格道路や国道・県道など県土の骨格となる道路網の整備に積極的に取り組みます。

また、既存の高速自動車国道の有効活用や地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため、中央自動車道へのスマートインターチェンジの整備促進に取り組みます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 中部横断自動車道の江尻窪残土処理場への工専用道路の概成
- ・ 新山梨環状道路北部区間の都市計画決定
- ・ 新山梨環状道路東部区間の都市計画決定
- ・ 談合坂、甲府スマートインターチェンジの地区協議会の設立 (名称は

全て仮称)

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・各期成同盟会等の参画と関係機関への要望活動の実施
- ・中部横断自動車道関連受託工事に係る用地権原の取得、工事の着手
- ・中部横断自動車道長坂以北の整備区間への格上げ要望の実施
- ・西関東連絡道路の整備の実施
- ・スマートインターチェンジ整備促進を図るため、関係機関との勉強会や地区協議会への参画

○重点項目2 甲府駅南口周辺地域の再整備の推進

①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

「甲府駅南口周辺地域修景計画」に基づき、県都の玄関口にふさわしい美しく風格のある景観を整備するため、平成25年度中の工事着手を目指し取り組みます

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・地域の景観づくりの骨格となる「駅前広場」や「平和通り」について、再整備の実施計画を策定

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・甲府駅南口駅前広場の実施計画の策定
- ・平和通りの実施計画の策定

○重点項目3 美しい県土づくりの推進

① 部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

平成26年度末までに8割を超える市町村において「景観計画」が策定できるよう支援し、個性ある景観形成を進めるとともに、県の公共事業によって地域の景観形成の先導的役割を果たし、県と市町村と住民・事業者、NPO等の協働による美しい県土づくりを進めます。

また、景観形成における重要な要素となる屋外広告物の改善に向けて

取り組めます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・美しい県土づくり推進会議、推進大会の開催
- ・景観形成モデル事業の実施
- ・屋外広告物の適正化による良好な景観形成の推進

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・美しい県土づくり推進委員会の開催
- ・市町村が行う「景観計画」策定及び計画実現のための事業を支援
- ・屋外広告物制度の周知啓発活動の実施
- ・違反屋外広告物の県下一斉取り締まり活動の実施

#### ○重点項目4 自然災害に強い県土づくりの推進

①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

大規模地震時には、迅速で広域的な復旧、被害の拡大を防止するための活動や被災者に対する救助・救援活動等を支援する緊急輸送道路の一層の整備に取り組めます。

台風の強大化、局所的豪雨の頻発などから、地域住民の生命・財産を保全するため、市街地の浸水対策や、ハード・ソフト対策が一体となった総合的な土砂災害対策に取り組めます。

暮らしにかかすことのできない下水道施設の耐震化に積極的に取り組めます。

地震に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、山梨県耐震改修促進計画の目標値である平成27年度末における住宅の耐震化率90%に向けて、住民が耐震診断や耐震改修などの支援制度を効果的に活用できるよう市町村や建築関係団体等と協力し、普及啓発活動に積極的に取り組めます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・緊急輸送道路の防災対策を10箇所実施
- ・緊急輸送道路の15m以上の橋梁の耐震化率65%への引き上げ
- ・甲府市市街地における洪水対策の実施（藤川・濁川）
- ・山梨県社会資本整備重点計画に基づく土砂災害対策新規着手予定箇所の着実な事業実施
- ・下水道終末処理場の継ぎ手部の可とう化工事の実施（継ぎ手延長70m）管渠とマンホールの継ぎ手の可とう化工事の実施（管渠延長3.5km）
- ・木造住宅耐震診断、耐震改修等の支援事業について居住者をターゲットとした普及啓発活動（戸別訪問、説明会）を2,000世帯を対象に実施するとともに、耐震診断、耐震改修設計技術者の養成を図る。

## ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・緊急輸送道路の防災対策、及び、橋梁の耐震化の実施
- ・甲府市市街地の河川改修（藤川）、流域貯留施設整備の実施（濁川流域内）
- ・土砂災害危険箇所の新規予定8箇所の事業実施
- ・市町村の土砂災害ハザードマップ作成支援
- ・流域下水道総合地震対策事業の実施
- ・戸別訪問による住宅耐震化の啓発活動（ローラー作戦）の実施
- ・建築物防災出張講座や説明会の開催
- ・住宅・建築物耐震改修促進協議会の開催
- ・耐震診断・補強計画マニュアル講習会の実施

## ○重点項目5 人にやさしい道づくりの推進

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

渋滞の解消や、安全性・走行性向上のための交差点の改良、あらゆる人が安全・安心で快適に通行できる歩行空間の確保のための電線類の地中化を推進するなど、人にやさしく景観に優れた道路の整備を進めます。交差点改良や電線類の地中化、フラット歩道の整備に関しては、それぞれ第2期チャレンジ山梨行動計画の目標達成に向けた整備を行います。

（平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業）

### ① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 10箇所の交差点の改良の実施
- ・ 電線類の地中化を6.6km実施
- ・ フラット歩道を5.0km実施

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 交差点における渋滞解消や安全性、走行性の向上を図るため、右折レーンや左折レーンの設置や区画線の変更等及び隅切りの改善等を実施
- ・ 電線事業者及び地元地域と協力し、既設歩道の電線類地中化や新設道路の電線類地中化工事を実施
- ・ 快適で安全な歩行空間を確保するため、段差のないフラット歩道の整備を実施

○重点項目6 公共土木施設の長寿命化の推進

①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

橋梁や河川管理施設及び流域下水道施設などの公共土木施設の長寿命化計画を策定し、施設の健全性の低下を抑制することにより長寿命化を図り、トータルコストの縮減に取り組みます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

① 上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 山梨県橋梁長寿命化実施計画に基づき150橋について耐震化、耐荷補強、補修の実施
- ・ 河川管理施設の長寿命化計画の策定完了(全12施設)
- ・ 富士北麓流域下水道のポンプ場の長寿命化計画の策定 1箇所

②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 山梨県橋梁長寿命化実施計画に基づき、計画的な補強、補修を実施
- ・ 河川管理施設3施設の長寿命化計画の策定(五明川伏越・水門、東川排水機場、間門川樋管・水門)
- ・ 流域下水道施設の長寿命化計画策定の実施

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

会計管理者 広瀬 猛

### ○重点項目 1 簡素で合理的な会計事務の構築

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

適正で迅速な会計・契約事務を確保するため、現在の事務処理の仕組みについて情報システムの活用の観点から検証・見直しを行うとともに、担当者の責任、役割を明確にした上で、より簡素で合理的な会計事務の構築に取り組みます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・平成23年度の取り組みをさらに徹底させるとともに、使用料及び賃借料や物品調達事務等の効率的な事務プロセスを構築

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・「使用料及び賃借料」の会計事務に係る組織間及び所属内の役割分担を明確にした簡素で合理的な事務フローを構築（支出負担行為伺いチェック表の作成）
- ・他の支出科目についても行政改革推進課等と協議し検討
- ・物品調達事務の一層の電子化の検討（随意契約における電子見積の拡大、競争入札における電子入札の導入）



## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成 24 年 4 月 10 日

公営企業管理者 後藤 雅夫

### ○重点項目 1 グリーンイノベーションの推進

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

本県の恵まれた自然環境を活かし、引き続き再生可能エネルギー（太陽光発電、小水力発電）の普及促進に取り組むとともに、超電導等による電力貯蔵技術実用化の推進に取り組みます。

#### (平成 24 年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成 24 年度で達成すべき目標

- ・超電導等による電力貯蔵技術実用化の推進
- ・小水力発電の推進
- ・メガソーラー発電所の活用の促進

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成 24 年度施策事業

- ・電力貯蔵技術による適用性実証試験実施計画の策定
- ・実証試験用大規模太陽光発電所の設計
- ・大城川砂防ダム利用発電所の実施設計
- ・数 kW 規模の水車発電機の開発
- ・米倉山太陽光発電所 P R 施設「ゆめソーラー館やまなし」を用いた普及啓発

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

教育長 瀧田 武彦

### ○重点項目1 確かな学力の定着・向上

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

本県児童生徒がこれからの「知識基盤社会」を生き抜くために必要な「確かな学力」を定着・向上させるため、授業改善や児童生徒の学習習慣の確立などを図ります。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・山梨県学力把握調査の「テスト形式」での利用を促進し、平成25年5月に実施する調査への「テスト形式」での利用校数を抽出及び希望利用併せて全小中学校数の95%以上

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- 学力向上対策事業
  - ・学力向上推進協議会の設置
  - ・学力把握調査の実施
  - ・研究指定校による実践研究

## ○重点項目 2 知的障害特別支援学校の高等部教育の充実

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

知的障害のある生徒の社会参加と自立を支援する高等部教育の充実に  
図るため、検討を進めます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 知的障害特別支援学校の高等部教育の充実の検討

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 高等部教育の充実に係るワーキンググループの開催
- ・ 検討結果の取りまとめ

## ○重点項目 3 新県立図書館開館後のサービス提供体制の構築

### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

11月11日、甲府駅北口に新県立図書館を開館して、県民の多様化・  
高度化する知的ニーズに応えるとともに、県民の自主的な学習・文化活動  
を支援する中核拠点としての役割を担い、地域の活性化に寄与します。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 開館に向けて施設、設備等を整備
- ・ 開館後の図書館における充実したサービスの提供体制を構築

### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 駐車場、家具備品、情報システム機器等の整備
- ・ 現図書館から新図書館への図書資料等の移転
- ・ 蔵書の充実など図書館固有の機能を強化
- ・ 交流エリアを県民が気軽に利用できる交流の場として提供するための準備

- ・ 円滑かつ効率的な施設管理に向けた指定管理者との詳細な協議

## チャレンジミッション' 12 (各部局重点項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる政策・事業について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、組織が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

警察本部長 唐木 芳博

### ○重点項目 1 治安の改善と犯罪の起きにくい社会づくり

#### ①部局等の課題に応じ、目標年次を定めた重点項目

「世界一安全な国」と言われた昭和期の治安水準を目指すとともに、かつて犯罪抑止に大きな役割を果たしてきた地域社会の強い連帯感や絆、高い規範意識を取り戻すなど、真に犯罪の起きにくい社会の実現に向けて取り組みます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点施策事業)

#### ①上記重点項目を達成するために平成24年度で達成すべき目標

- ・ 犯罪の総量抑制

#### ②上記重点項目を達成するために行う平成24年度施策事業

- ・ 自主防犯ボランティア団体の設立促進
- ・ 自主防犯ボランティア団体連絡協議会連合会への支援
- ・ 官民協働による合同パトロールの実施
- ・ 参加、体験、実践型防犯研修の実施
- ・ サイバーパトロールモニター制度の活性化

## チャレンジミッション' 12 (部局共通項目)

私は、「暮らしやすさ日本一の県づくり」を推進するため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、次に掲げる事項について重点的に実施します。今後、目標の達成に向け、全庁が一丸となり取り組んでいきます。

平成24年4月10日

知事政策局長 芦沢 幸彦  
(以下全部局長)

### ○重点項目 1 県民生活安定及び経済活性化に関する施策の推進

国の動向を注視する中で、県民生活の安定と経済の活性化に資する効果的な制度の導入に取り組めます。また、緊急雇用創出事業について、アイデアを出し前向きに取り組むことにより雇用の創出を図ります。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点的な取組み)

- ・国制度等の情報収集、分析を行い既存事業や新規事業への活用を検討
- ・緊急雇用創出事業の対象となる新たな委託事業等の検討

### ○重点項目 2 仕事ダイエツト活動の推進

本格的な地域主権改革に対応し、多様化・高度化する県民ニーズに応える新たな施策や制度改革などを実現していくため、県庁の仕事のあり方や進め方をいま一度見直し、県庁全体の仕事の「質」の向上とともに、職員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現にもつながら、仕事ダイエツト活動に取り組めます。

(平成24年度に達成すべき目標及び重点的な取組み)

行政評価(内部評価)において、事務事業の見直しを徹底し、不要不急な事務等の廃止、一部廃止、縮小などの削減を積極的に行い、業務全般の減量を実施